



「地方創生」は生き残りをかけた挑戦です。  
宗像の戦略的な事業にどうかずか、考えます。



# ら! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第12号

## 地方創生で戦略的事業を

国は少子高齢化から地方都市の消滅という厳しさを増した現実に対応するために「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、<長期ビジョン>と<総合戦略>を取りまとめました。この地方創生は国の補助金がバラマキやタテワリであったという問題点を反省し、地方の独自性を尊重し、数値目標と効果検証のもと、多様な主体が参画して地域全体で取り組む、という新しい方向性を示しています。

宗像市はこれに沿って、<地方人口ビジョン>により現状把握と目標設置を行い、これを実現するために特性を活かした<宗像版総合戦略>を策定します。従来の行政手法を革新し、経営的視点を持って持続的な活性化を行うためには、官民連携、特に企業との協働が必要です。需給感覚に敏感な企業と協働することで利益を生み出し、雇用と消費が創出されるビジネスモデルの構築が求められます。

団地再生は市の戦略的事業と位置づけられ、日の里地区まちづくり特別委員会での議論、有識者や企業による都市再生プロジェクト専門家会議の提言書などを参考に宗像市都市再生基本方針が策定されます。

日の里団地再生には、UR住宅の魅力を高め、高齢者の一戸建てからの住み替えを進めることが重要ですが、現状は家が売れず、資産が流動化しません。そこで地方創生を利用し、住み替え促進により企業が利益をだせるような仕組みを団地再生モデル地区として創出できないか、提案しました。

大きな時代の流れに宗像市自身が対応し、特徴を活かした自立の道を歩まないといけません。これは地方分権の第一歩となり近隣都市との競争でもあります。この地方創生で宗像を革新し、日本を変えていく、という気概と覚悟でのぞんでいきます。



日の里地区まちづくり計画特別委員会の「東郷駅前空き店舗（写真）の団地再生拠点として活用の提案」を、地方創生を利用して、団地再生モデル事業の計画に組み込み予算を捻出できないか質問しました。執行部の「積極的に応えながら駅前を明るくするような方策と一緒に考えたい」という前向きな回答を引き出しました。

## ●●●● 地方創生でグローバル人材事業を ●●●●

宗像市はグローバル人材育成のため様々な事業を実施しています。

先日、彫刻家の外尾悦郎さんの講演会が行われました。非常に哲学的で深い内容でしたが、最も印象に残った部分が、<スペインに渡り、最初はスペイン人になろうと振舞っていたが、受け入れられない。開き直って、俺は博多の外尾たい!とありのままに自己表現すると急に友人ができた。自分の根っこに気がつかないと何者にもなれず、受け入れられることもない>という話でした。

広い世界で活躍して、深い思想を持つ外尾さんが最も大事にしてるのが自分の根っこであり、今もたびたび故里に戻り根っこを確認するとのこと。宗像に生きる子どもがどんな根っこを持つのか、そのためにどのような経験をすべきか。グローバル人材の育成には、その根っこを自覚する機会が必要だと感じました。

日本は家、学校、社会と枠組みが整い安心安全に暮らせる半面、その枠の中で守られ、完結する傾向があると感じます。

私は、海外に出てすべて自決できる自由な状況になった時、自分がいかに枠組みに守られていたか痛感し、不安と同時に未来の可能性を強く感じた経験があります。自分の根っこを探すためにも、枠組みを外すきっかけが必要ではないか、それを官民で提供するのがグローバル人材育成事業の一つの形ではないかと考えます。

現代は、希望が持ちにくい時代だと言われています。この時代を生き抜くためにも自分の根っこを見つけ育てるきっかけが必要です。そのために官民が連携し、地方創生を利用して、さらにたくさんのプログラムを用意できればと考えます。元祖国際都市といわれる宗像のアイデンティティを拠所に、子どもの個性で自ら選び、参加し、経験をjする。それぞれが得たものが共鳴して未来の宗像を創る力になるのではないのでしょうか。



長野県松本市への小学校県外交使節団の写真です。宗像や家庭という枠を外れて、何かを感じるきっかけになったのでは？

一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。  
また、日々の活動はfacebook【facebook.com/goyo4da】にて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

## ●●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●●



- 平成27年
- 1月 会派志政クラブで四国に視察に行きました。小豆島のオリーブ栽培や丸亀市の認知症対策など、ネットでは公表できない担当者の苦労話が参考になります。
  - 2月 市政報告会を行いました。今年は2年前の選挙公約の進捗状況をお話しました。たくさんの方がご参加頂き、人のつながりも出来て、充実した報告会でした。
  - 3月 42歳になりました! この1年、しっかり生き切ります!  
定例会は建築産業委員会に所属、予算第二委員会では国保値上げなどを審議。  
桜の季節なので宗像大社で12号の表紙写真を。でも指が1と2で逆でした。取り直そうと思ったら雨で桜が散ってしまったのでそのままです。

